

夏目漱石「坊ちゃん笹だんご」をどうぞ!!

実は文豪夏目漱石の看板小説である、「坊ちゃん」の主人公「俺(おれ)」のモデルが、沼垂生まれ、沼垂育ちの中央区馬越の有名な堀川味噌やさんの親戚の堀川三四郎さんであると、元新潟商業高等学校の校長の勝山一義氏が5年前に発表されました。

三四郎さんが恩師の夏目漱石に全て話したことがヒントになって、小説「坊ちゃん」が誕生したというわけです。

その証しのひとつに「坊ちゃん」の作品に突如として「越後の笹飴が食べたい…」というせりふが出てきます。

堀川三四郎さんは現在の東京大学である東京帝国大学で学び、漱石の愛弟子となったと、漱石全集に記述されています。また沼垂の紫竹にある順端寺の過去帳にお名前が有ります。

ある県では「坊ちゃんまんじゅう」・「坊ちゃんだんご」・「坊ちゃんうどん」と冠に「坊ちゃん」をつけて知名度を上げています。

地元も負けずに貴重な宝物である「坊ちゃん」を、大いに活用すべきでしょう。取りあえず第一弾として、蒲原祭りには「坊ちゃん笹だんご」・「坊ちゃんちまき」として販売を盛り上げたいと願っています。

(長嶺地域コミュニティ協議会 丹羽)

